

3. 本体ケースを取り付ける

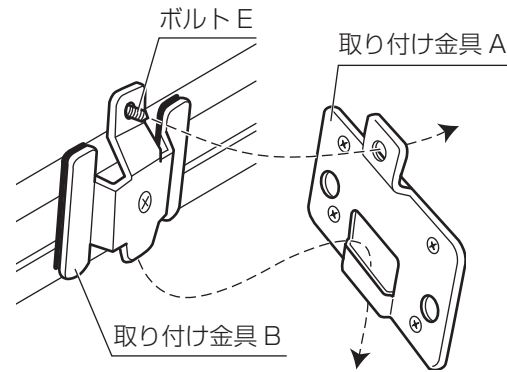
壁（または天井）に取り付けた「取り付け金具 A」に本体ケースを取り付けます。

1. 取り付け金具 B の爪を、壁（または天井）に取り付けた取り付け金具 A のくぼみに差し込む

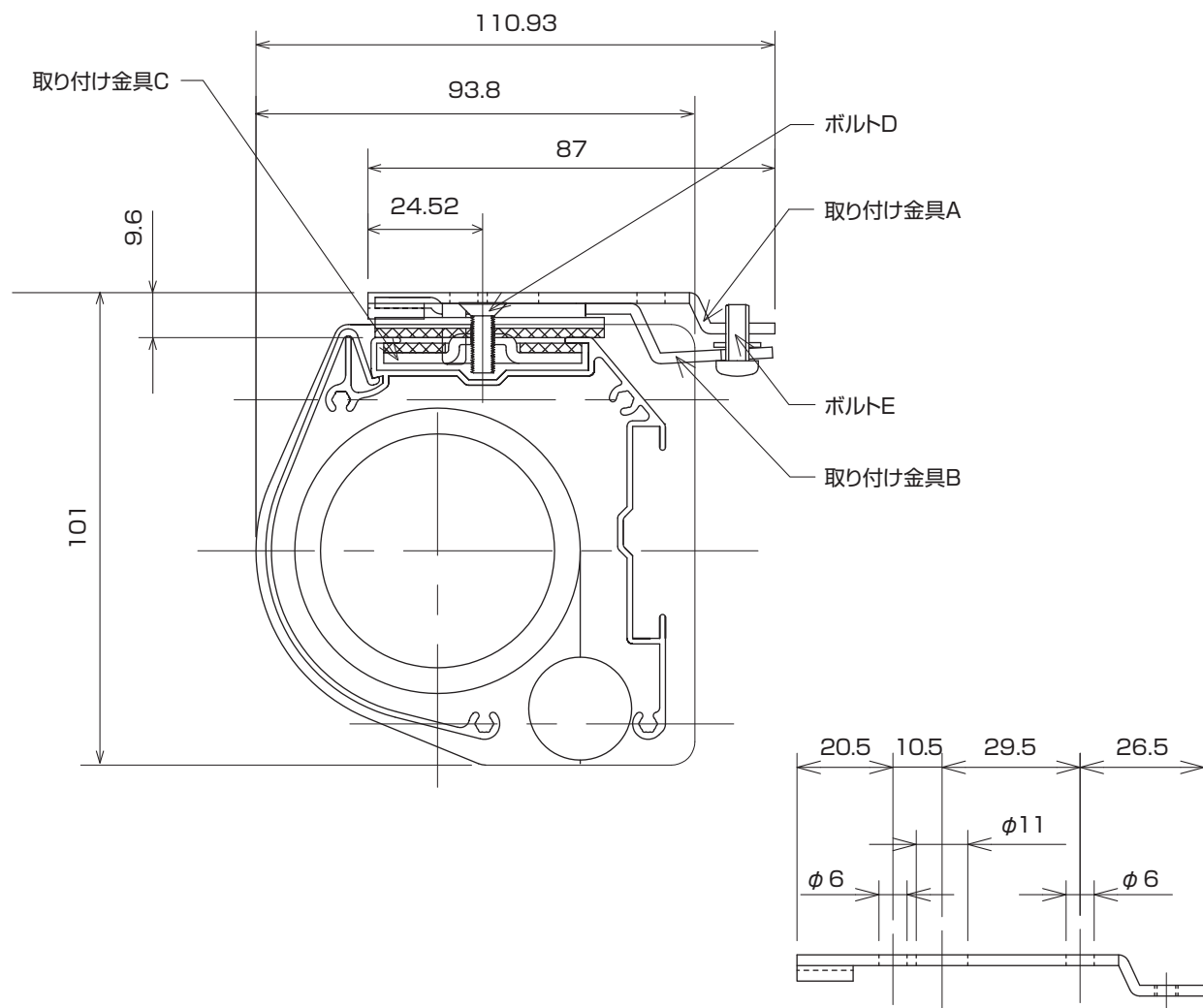


取り付け時は、スクリーンの本体ケースが取り付け金具 A から抜け落ちないように注意してください。施工の途中で絶対に手を離さないでください。

2. 取り付け金具 B のボルト E を取り付け、金具 A のネジ穴に合わせ強く締め固定する



取り付け時寸法図（天井取り付け時）

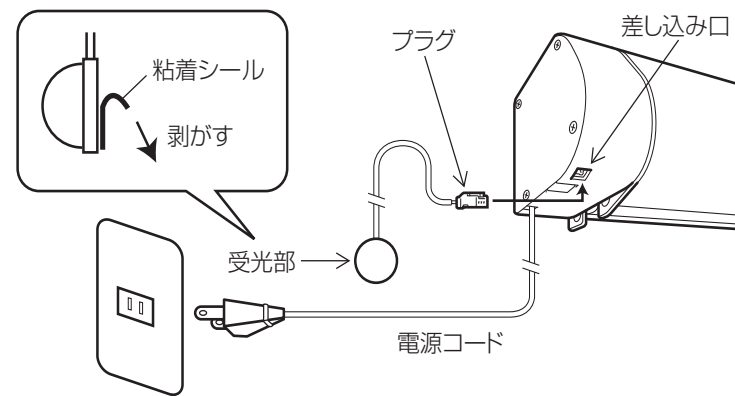


取り付け金具 A 孔位置図

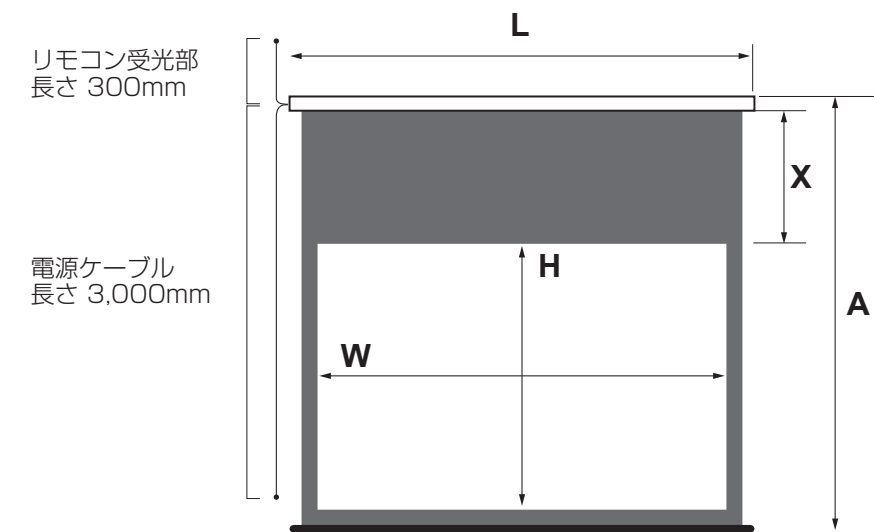
リモコン受光部を取り付ける

1. リモコン受光部のコネクターを差し込み口に接続する
2. 貼り付け面のゴミや汚れ・水・油・湿気などを拭き取り、受光部裏面の粘着シールの剥離紙を剥がし、確実に貼り付ける

※必ず直射日光の当たらない場所に設置してください。
 ※直射日光などにより受信感度が悪い場合には、受光部の取り付け位置を変更してください。
 ※リード線の長さは 300mm です。



基本仕様



品名	HBR-80WS	HBR-100WS	HBR-120WS	HBR-HD80WS	HBR-HD100WS	HBR-HD120WS	HBR-WX80WS	HBR-WX100WS	HBR-WX120WS
イメージ寸法 W (mm)	1.625	2.030	2.440	1.771	2.214	2.655	1.723	2.154	2.585
H (mm)	1.220	1.525	1.830	996	1.245	1.495	1.077	1.346	1.615
ケース寸法 L (mm)	1.823	2.228	2.638	1.968	2.413	2.853	1.923	2.353	2.783
全長 A (mm)	1.810	2.115	2.420	1.680	1.930	2.180	1.765	2.031	2.300
上黒 (MAX) X (mm)	400			500			500		
質量 (kg)	7.0	8.6	10.5	7.4	9.0	10.9	7.3	8.8	10.7
電源電圧	AC100V 50/60Hz								
操作電圧	DC5V								
消費電力	4W								

製造元・問い合わせ先

株式会社 ケイアイシー 〒160-0022 東京都新宿区新宿 1 丁目 28 番 3 号 川辺第 2 ビル TEL: (03) 3357-7195

電動式スクリーン

HBR-80WS / HBR-100WS / HBR-120WS
 HBR-HD80WS / HBR-HD100WS / HBR-HD120WS
 HBR-WX80WS / HBR-WX100WS / HBR-WX120WS 取扱説明書

このたびは、お買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
 この「取扱説明書」は、スクリーンを安全に正しくご使用いただくためのものです。ご使用前に必ずお読みください。また、ご使用中もお手元に置いてご活用いただき、大切に保管してください。

安全上のご注意

製品は安全に十分配慮して設計されておりますが、誤った取り扱いをすると、火災が起きたり人が障害を負うことがあります。事故防止のため下記を必ずお守りください。

- 安全上のご注意の注意事項を守る** ▶▶ 「安全上のご注意」の注意事項を必ずお読みください。
- 定期的に点検する** ▶▶ ご使用前に、スクリーンの巻き取り部や取り付け部などに、ゆがみ・ゆらみ・破損や亀裂などがないことを確認してください。点検は 1 年に 1 度行ってください。
- 故障したら使用しない** ▶▶ 動作がおかしくなったり製品の破損に気がいたら、すぐに使用を中止して販売店に修理をご依頼ください。

警告

下記の注意を守らずに誤った取り扱いをすると人が障害を負う恐れがあります。

- 火気禁止** **熱器具のそばに設置しない**
 製品にはプラスチック素材を使用しているため、ストーブやヒーターなどの発熱器具に近い場所に設置すると火災の原因になります。
- 禁止** **異常を感じたら使用を中止する**
 異臭や異音を感じたり、動作に異常が認められたときは、直ちに運転を中止して電源プラグを抜いてください。そのまま使用し続けると火災や故障の原因となることがあります。
- 禁止** **スクリーンにぶら下がらない**
 スクリーンにぶら下がったり、物をかけたりしないでください。スクリーンが落下して大けがの原因となることがあります。
- 注意** **取り付けをきちんと行なう**
 スクリーンを天井や壁面に取り付ける際は、天井・壁面の強度を確認した上、しっかりと取り付けてください。取り付けが甘いとスクリーンが落下して大きな事故の原因となります。
- 分解禁止** **分解・改造しない**
 正常に作動しなくなるだけでなく、部品が飛び出し大けがの原因となります。
- 禁止** **スクリーンを無理にひっぱらない**
 スクリーンを無理にひっぱると、内部のモーターが破損し、スクリーンが動かなくなることがあります。

⚠ 注意

下記の注意を守らずに誤った取り扱いをすると人が障害を負う、または財産に損害を与える恐れがあります。

禁止 スクリーンを取り扱うとき

スクリーン昇降の際は、周りに人や障害物がないかを十分に確認してください。

禁止 子供がさわらないようにする

小さなお子様がスクリーンを操作したり、スクリーンを使って遊ばないように注意してください。

設置に関するご注意

次のような場所には設置しないでください。

- 湿度の高い場所
- 風が直接あたる場所
- 直射日光のあたる場所
- ストーブや熱器具の近く
- ほこりの多い場所
- 人が頻繁に通過する場所

スクリーンに関するご注意

スクリーンの反射性能維持のため、下記にご注意ください。

- スクリーンに直接手を触れないでください。
- スクリーンを折る、寄りかかる、物をぶら下げるなど乱暴に扱わないでください。
- スクリーンに文字を書かないでください。筆記用具の種類を問わず消すことができなくなります。
- スクリーンのお手入れは、乾いた柔らかい布で拭くか柔らかいブラシでホコリを払ってください。汚れがついたときは、薄い中性洗剤液で軽く拭いたあとに水拭きをして、完全に乾燥させてください。
- お手入れにはベンジン・シンナーなどの化学薬品は使用しないでください。スクリーンの表面が変質し、均一な映写効果が得られなくなります。

使用時のご注意

- スクリーン昇降の際は、付属のリモコンスイッチをご使用ください。リモコンを操作する際はリモコン本体を受光部に向けてご使用ください。リモコンの使用については「リモコンを使う」を参照してください。
- 昇降時に動作を反転させる際には、必ずいったんストップさせてから動かしてください。

リモコンを使う

ご使用前に、リモコンに電池（単4アルカリ乾電池×2本）を入れてください。

1. **スクリーンを巻き上げる**
▲ ボタンを押します。スクリーンがケースに収納され、自動的に止まります。
2. **スクリーンを途中で止める**
□ ボタンを押します。押した位置で止まります。
3. **スクリーンを降ろす**
▼ ボタンを押します。スクリーンが所定の位置まで下降し、自動的に止まります。
4. **スクリーン下限位置を設定する**
設定方法は下記「スクリーン下限位置（リミット）を設定する」をお読みください。
※スクリーン昇降動作中の反転操作は、□ ボタンを押してから行ってください。

スクリーン下限位置（リミット）を設定する

工場出荷時に下限位置は設定済みです。下限位置を変更するときは、リモコンを使って以下の手順で設定してください。

1. ▲ ボタンを押します。スクリーンが巻き上げられて自動的に止まります。スクリーンが上がってる場合は動きません。
2. ↻ → □ → ▲ の順にボタンを押します。
3. ▼ ボタンを押します。スクリーンが下降します。※自動停止しません。
4. ▲ ▼ □ ボタンでご希望の下限位置に調整し、ストップ状態にします。
5. ↻ ボタンを押すと、約2秒後に下限位置が設定されます。
6. ▲ ボタンを押して、自動停止するまでスクリーンを巻き上げます。
7. ▼ ボタンを押して、設定した下限位置でスクリーンが停止するか確認します。

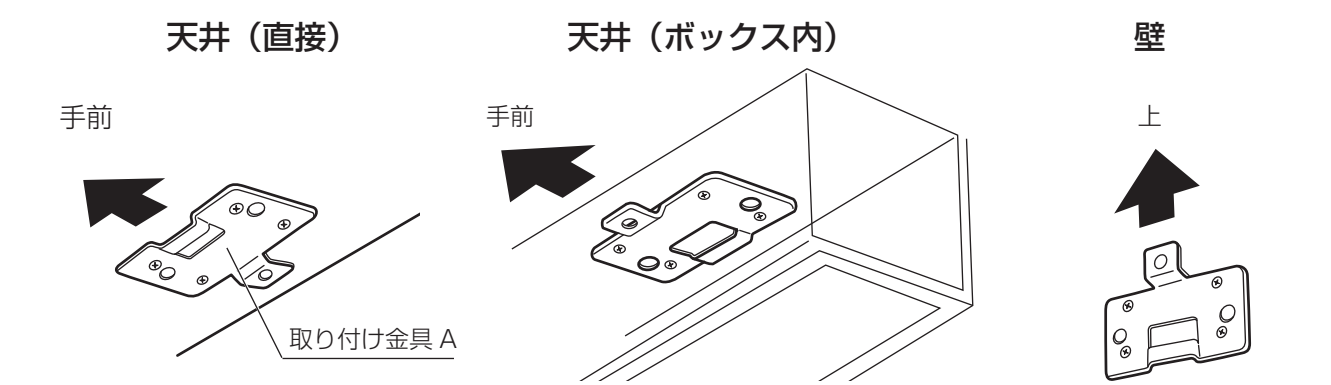
- 必ずストップ状態で設定してください。
- 上限位置は設定できません。
- 壁付けスイッチで下限位置は設定できません。壁付けスイッチを単品で使用する際でも、下限位置はリモコンで設定してください。
- 設定した下限位置（リミット）がずれたときは、スクリーンをすべて巻き上げて再度確認してください。それでもずれている場合は再度設定してください。

スクリーンを取り付ける

取り付け部品			
取り付け金具 A (x2) (天井、ボックス、壁側)	取り付け金具 B (x2) (本体側)	取り付けナット C (x2) (本体側)	ボルト E (x2) (トラス5 x 12mm)
		※スプリングワッシャー、ナットは用途に応じてご使用ください。	
タッピングビス F (x8) (トラス4 x 40mm)			

1. 取り付け金具 A を設置場所に取り付ける

取り付け金具 A を天井（直接）、天井（ボックス内）、壁面などに取り付けます。天井（直接）、天井（ボックス内）、壁面で取り付け方が異なりますのでご注意ください。



※壁面にドン付けする場合は、付属の型紙で位置決めを行ってから取り付けるようにしてください。

2. 取り付け金具 B を本体ケースに取り付ける

取り付け金具 B を本体ケースに取り付けます。

1. 取り付け金具 B の取り付け位置にしるしをつける

2. 取り付け金具 B のボルト D を緩め、取り付けナット C を外し、ゴム面を上にして本体ケースの溝に収める

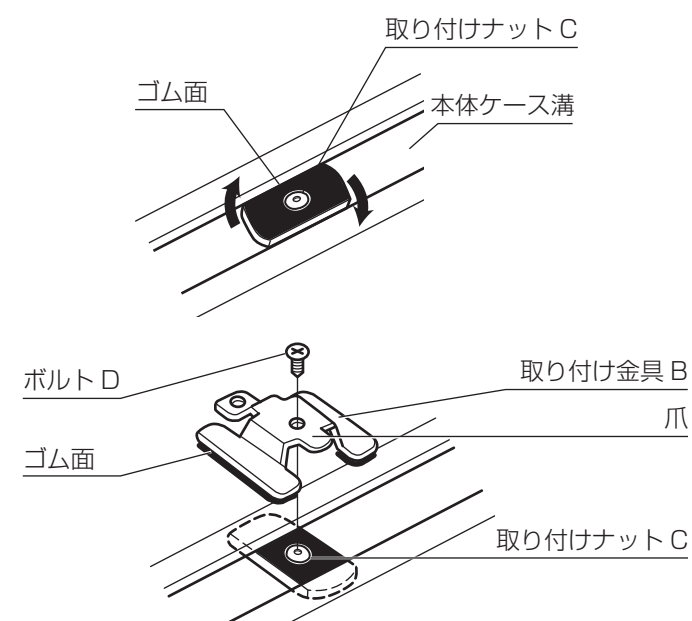
3. 本体ケースの溝の中で取り付けナット C を右方向に 90° 回転させ本体ケースから外れないようにした後、取り付け金具 B のゴム面を溝の両縁に渡した状態でボルト D を軽く締めて仮固定する

取り付け金具 B から出た突起が、取り付けナット C の上に乗らないようにご注意ください。天井（直接）、天井（ボックス内）、壁面で取り付け金具 B の爪の方向が下表のように異なります。ご注意ください。

	天井（直接）	天井（ボックス内）	壁面
取り付け金具 B の爪の方向	手前	背後	下

4. 取り付け金具 B を 1. で付けたしるしに合わせ、ボルト D を強く締めて固定する

取り付け金具 B から出た突起が取り付けナット C の上に乗っていないか、取り付けナット C が溝方向に対し直角にセットされているか確認してください。



壁付けスイッチ（中継コネクター付）

取扱説明書

このたびは、お買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

この「取扱説明書」は、本機を安全に正しくご使用いただくためのものです。ご使用前に必ずお読みください。また、ご使用中もお手元に置いてご利用いただき、大切に保管してください。

安全上のご注意

製品は安全に十分配慮して設計されておりますが、誤った取り扱いをすると、火災が起きたり人が障害を負うことがあります。事故防止のため下記を必ずお守りください。



警告

下記の注意を守らずに誤った取り扱いをすると
人が障害を負う恐れがあります。

禁止

異常を感じたら使用を中止する



異臭や異音を感じたり、動作に異常が認められたときは、直ちに運転を中止して電源プラグを抜いてください。そのまま使用し続けると火災や故障の原因になります。

分解禁止

分解・改造しない



正常に作動しなくなるだけでなく、部品が飛び出し大けがの原因となります。

適用機種以外のスクリーン に使用しない リード線を傷つけない

適用機種以外のスクリーンに使用すると、火災や故障の原因になります。

禁止



重い物をのせたり、火器類を近づけるとリード線の破損により火災の原因になります。

禁止



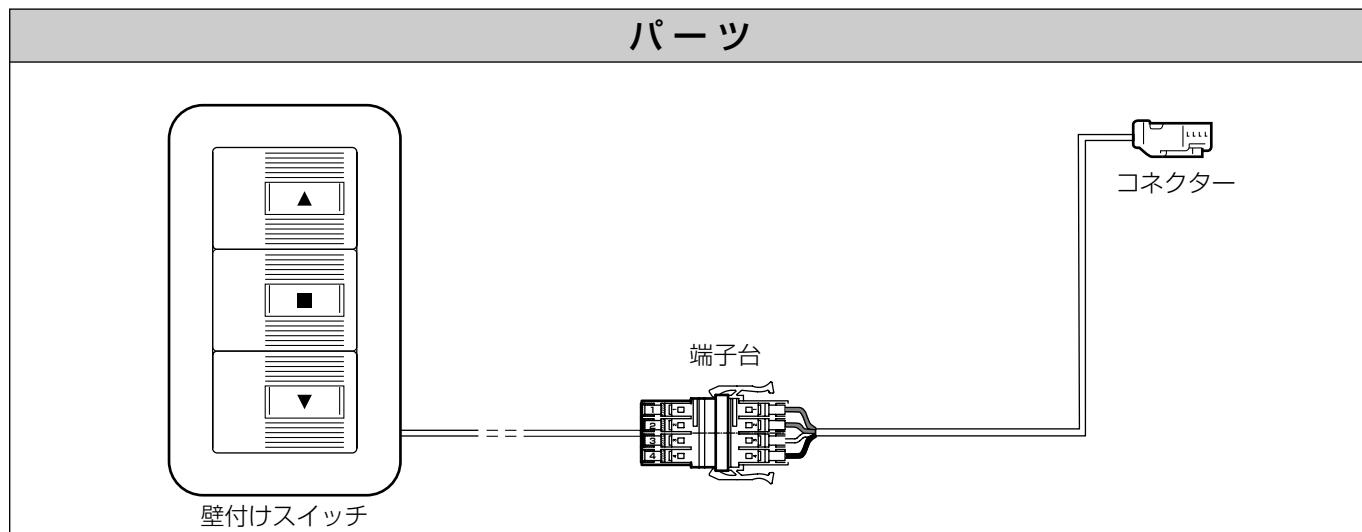
接続および関係する作業は、 電源コードを抜いて行なう

通電状態で作業すると火災や感電の原因になります。

注意



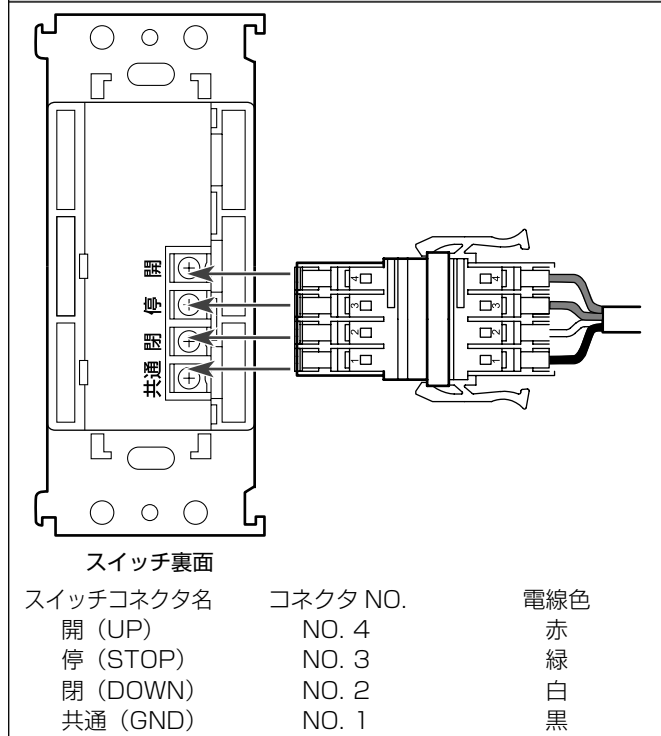
パーツ



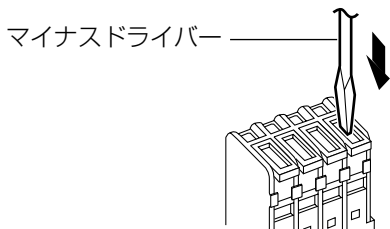
セットする

作業の前にあらかじめマイナスドライバーなどの工具と電線をご用意ください。

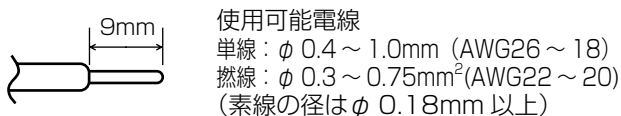
標準操作結線図



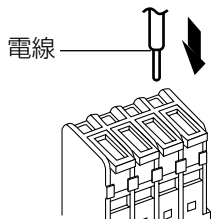
1. マイナスドライバーなどを使って、ボタンがロックされるまで押し込んで接続を解除し、壁付けスイッチ側の電線 4 本を引き抜きます。



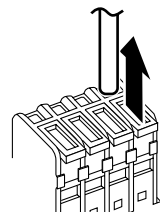
2. 接続する電線の被覆を剥ぎ取ります。燃線の場合は、挿入に備え軽くひねります。



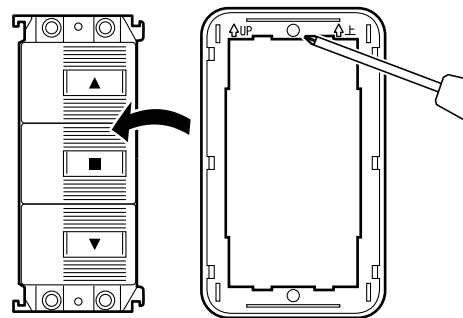
3. 電線を挿入穴に奥まで差し込みます。芯線が露出しないよう注意してください。



4. ボタンを元の位置に戻します。

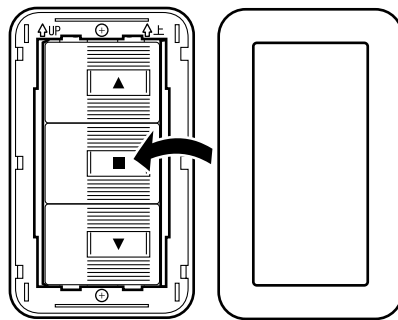


5. 結線したスイッチは、スイッチ内ケースとネジで共締めします。



取り付け前にスイッチの上下を必ず確認してください。スイッチの▲・■・▼が右寄りが正しい上下位置です。

6. スイッチ外ケースをはめ込みます。



7. コネクターをスクリーンの差し込み口に接続します。

